

イベント情報

立命館アジア太平洋大学
2019年6月27日 配信 APUリリース 2019-16



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

大地震が発生！あなたはどうする？避難所に愛犬「もも」を連れて行く？いかない？

地震を想定した防災ゲーム

「クロスロード」の体験会・研修会を実施

7月6日（土）10:00-17:00 @ビービズリンクBIP

2019年7月6日（土）に、別府市の「ビービズリンクBIP」で、神戸クロスロード研究会理事の西修（にし おさむ）氏を招き、防災ゲーム「クロスロード」の体験会およびワークショップを行います。この体験会・研修会は、熊本・大分地震後に市内で「防災まちあるき」など防災をテーマにしたイベントを実施している、APU言語教育センター日本語教員の石村文恵が企画・運営しています。

イベント概要

日時：7月6日（土） 1部（体験会）10:00～12:30
2部（研修会）13:15～17:00

場所：「ビービズリンクBIP（旧別府インターナショナルプラザ）」（別府市京町11-8）

対象：1部（体験会：本イベントに興味のある方はどなたでも参加いただけます。※要事前申込）
2部（研修会：1部の体験会に参加された方。もしくは、過去にクロスロードを行ったことがある方。）

言語：日本語（各グループに英語の出来る方を1名配置予定、また出来る限りやさしい日本語を使用）

内容：1部の体験会では、「クロスロード」のゲームを実際にグループに分かれてやってみます。2部の研修会ではゲームの場面を別府の現状に合わせて、問題を作ります。多文化のケースなども作成する予定です。

講師紹介

西修（にし おさむ）氏（神戸クロスロード研究会理事）

神戸市役所勤務。阪神淡路大震災を経験しており、20年以上住民と共に防災についての取り組みを実施している。

防災ゲーム「クロスロード」とは？

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で、災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成された、カードゲーム形式の防災教材です。クロスロードの問題カードには、「3000人いる避難所で、2000食を確保した。この食糧を配るか配らないか」など、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないような「ジレンマ」が多数あります。プレイヤーは、自分なりの理由を考え「Yes」か「No」か、一つだけを選び、自分の前にカードを裏返して置きます。合図で一斉にオープンし、多数派の人は、青座布団を獲得できる。一人だけの人がいる場合、その人は金座布団を獲得し、他のプレイヤーは何ももらえません。10枚のカードを終えたときに、一番多くの座布団を持っていた人が勝ちとなります。座布団の配当を終えたら、問題を全員で話し合い、その人が「Yes」または「No」を選んだ理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができます。クロスロードは、災害を自分の身に引き寄せて考えると同時に、他者のさまざまな考えを知ることができるゲームです。（※内閣府防災情報ページより抜粋）

防災ゲーム「クロスロード」 ワークショップ



日時：7月6日(土)10時から17時

第1部 10:00～12:30 クロスロード体験会(60名まで)

第2部 13:15～17:00 クロスロード研修会(40名まで)

・場所：ビービズリンクBIP 1階(旧別府インターナショナルプラザ)
北浜温泉テルマスの後ろ

・講師：西修氏(神戸クロスロード研究会 理事)

神戸市役所に勤めていて、20年以上住民といっしょに多くの取り組みをしている。阪神淡路大震災(はんしんあわじだいしんさい)を経験。

・参加費：無料

・申し込み：こちらのリンクからお申込みください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/MJLXZWX>



お問い合わせ：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター
石村文恵 (ishimura@apu.ac.jpまで)

Q1. 大きな地震のため、避難所(小学校体育館)に避難しなければならない。しかし、家族だと思っている犬「もも」(ゴールデンリトリバー、メス3歳)がいる。いっしょに避難所につれていく? **YES**(連れていく) or **No**(置いていく)

「YES」か「NO」かを決めなければなりません→ジレンマがあります
⇒自分のこととして考える

自分とちがう意見や価値観
に気づくことができます

